



Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries of
Rotary International District 260

District 260 R.I. Governor
KOICHI OKUMA

c/o The Nagoya Kanko Hotel
1-19-30 Nishiki, Nakaku, Nagoya, Aichi, Japan 460

Phone: 052-231-7711 (Ext. 527)

国際ロータリー第260地区ガバナー 大隈孝一

〒460 名古屋市中区錦1丁目19番30号 名古屋観光ホテル内 Phone: 052-231-7711 (内線527)

MANKIND IS ONE
人類はひとつ

Build Bridges of Friendship Throughout the World
世界中に友情の橋をかけよう

1982国際ロータリー第260地区年次大会



年次大会を終えて

ガバナー 大隈 孝一

服部R.I. 会長代理をはじめ、R.I. の役員の方々や、多数の会員のご参会を得て、また、ホストクラブの絶大なるご尽力により、盛大に大会を開催することが出来たことを、誠に光栄に存じます。

特に、R.I. 会長代理に、パネル討論会のパネラーとしてご参加いただいたことは、恐らく初めてのことと思います。我々の最も尊敬する、大来佐武郎、松平一郎両パネラーによるシンポジウムに、更に花を添えることが出来、また、城山三郎氏の魅力あふれる講演と共に、皆様もこの得がたい機会を十分にご満足いただいたものと思います。

大会を通じて、会員諸兄は何ものかを自分の心の中に得られたことを確信します。それは一人一人、それぞれ異なったものでありましょう。しかし、それでよいと思います。そして、このことが大会の最も大きな収穫ではないでしょうか。

年々参加者も増加し、2,500名を超えました。これだけの人数になりますと、開催すること自体の苦労も並々ならぬものがあります。また、開催日の決定なども、限られた会場の都合によって左右されることが多く、今後、このような大会の開催については、考えさせられることが多々あります。しかし、これらの苦労にもまして、実りの多かったことを、心から喜び、且つ感謝する次第であります。

国際ロータリー第260地区

年次大会報告

9月25日(土)・26日(日)／名古屋市民会館



年次大会にて(左:大隈ガバナー 右:服部R.I.会長代理)

大会本会議

第1日目

大隈ガバナー挨拶要旨

公式訪問をしつつ、ロータリーの運動は時勢に対応して考え直す時に来ていると感じております。

ロータリーは今や、ステーキでいうならウエルダンの状態になっていると思います。焼き過ぎて固くなり、味がなくなっているようです。活性化を図るべき時に来しております。

奉仕にしても、現在は官庁など、施設、施策等が完備しておりますので、従来通りではあまり意味がありません。マンネリの行事で「またか」と言われるより、ちょっとした心配りで、「よくやって下さった。有難う」と言われるようにしたいものです。

会員増強、ロータリー財団にしても、もう一度、向きを考え直す必要があるのではないのでしょうか。

奨学生を増やすということより、中味を再検討すべき時に来ていると思います。

現在、愛知4、長野3の7分区、88のクラブがありますが、分区そのものも大き過ぎます。分区の再分割の時が近づいているとも考えます。

最後に、ロータリーの直面する難問は国際感覚をいかに育成するかであります。先般、フランスへ行きました時、フランス人がこんな話をしてくれました。「ディスカールディスタンはアメリカに視線を向けているが、両手はソ連に差し出している」、「ミッテランはソ連に視線を向けているが、両手はアメリカに差し出している」われわれのにぶい国際感覚を指摘したものです。今後は、もっと国際感覚に磨きをかけ、対処したいものだと思っております。

服部R.I.会長代理挨拶要旨

向笠R.I.会長のご指名により、会長代理としてお伺いしました。本日は東ヶ崎R.I.元会長始め、R.I.の理事・理事経験者も大勢おみえになります。また、当第260地区は大隈ガバナー等、永年ご懇意の先輩諸氏もおられ、個人的にも大変光栄に存じております。

ロータリーでは、国際大会の他に世界各地400ヶ所で、毎年このような地区大会が開かれております。国際大会はなかなか出席する事が出来ませんが、地区大会は我々ロータリアンが比較的容易に参加出来る有意義な会合です。この機

会に、自分のクラブ以外の多くのクラブのメンバーと直接顔を合わせ、声をかける事が出来ます。目を広く外に向け、横の広がりを深める絶好のチャンスです。特に新クラブのメンバーにとっては、殊更です。当地区ではごく最近、千種RCが誕生され、この会場に皆さんおいでですが、世界のロータリアンにかわり、心からお祝いを申し上げます。

さてR.I.会長は毎年ご就任に際し、その年のテーマをお示しになります。今年は「人類は一つ世界中に友情の橋をかけよう」です。テーマというのは、作文の題・新年の勅題のようなもので、その題にもとづいて立派な文を書き、立派な和歌を詠じていただくのは夫々のクラブ、夫々のロータリアンの皆さんです。

その点よくご留意の上、これからのロータリー活動・社会活動を行っていただきたいと存じます。

その他

女性としては世界初の快挙（ブザンソン国際指揮者コンクール優勝）を成し遂げた松尾葉子さんを筆頭に、ロータリー財団奨学生・米山記念奨学生・青少年交換学生・インターアクトクラブ・ローターアクトクラブの紹介などが続けられ、この後、メイン企画としてのシンポジウム（4～6頁）が行なわれた。



奨学生代表・松尾葉子さん

夜は名古屋観光ホテルで、世良譲トリオ・伊東ゆかりのアトラクションを交えて、和やかに希望晩餐会が開かれた。

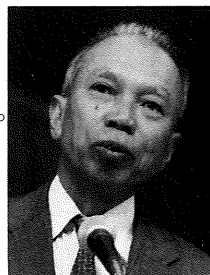


拍手を贈る大隈ガバナー夫妻

第2日目

記念講演

地元出身の作家・城山三郎氏の記念講演が行われた。「人間達の魅力」と題し、村上龍の父、本多宗一郎、土光敏夫、女優貞奴など多彩な人物を登場させ、個性の相違による面白さを織り交ぜつつ、深い感銘を与えた。



城山三郎氏

大会決議委員会報告

- 国際ロータリー会長代理・服部礼次郎氏夫妻に対する感謝の件
- 直前ガバナー・加藤直一郎氏に対する感謝の件
- R.I.会長・向笠広次氏の行動要請を支持する件
- ホストクラブ並びに協力団体に対する感謝の件
- 1983年国際大会に参加協力する件
- 大会記念事業の件
- 1983～84年度地区年次大会開催地に関する件

1983～84年度地区年次大会は、松本西南ロータリークラブをホストクラブとし、松本ロータリークラブ、松本南ロータリークラブ、塩尻ロータリークラブをコ・ホストクラブとして、1983年9月24日、25日、松本市において開催することを決議された。



次期地区大会ホストクラブ会長挨拶

選挙管理委員会報告

ガバナーノミニー候補として選出された松本南RCの奥沢俊一氏が、正式にガバナーノミニーに選ばれた。

その他

ガバナーノミニー紹介後、優秀クラブ表彰、次期年次大会ホストクラブ松本西南RC会長挨拶などがあり、最後にR.I.会長代理講評、ガバナー挨拶があって、正午過ぎ、2日間にわたる本会議の幕を閉じた。

本大会に対し、国際ロータリー第270地区ガバナー・中牟田喜一郎氏より「このたびの国際ロータリー第260地区年次大会は、会長・幹事会から大会本会議第1日、第2日、そして希望晩餐会と、大隈ガバナーが唱えられました簡素に楽しく意義ある大会にとのご方針に沿い、実に見事にその趣旨が生かされておりましたことを、大変感銘深く拝見いたしました。」というお言葉をいただいた。

国際ロータリー第260地区年次大会 シンポジウム(パネル討論会)

テーマ：人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

大隈ガバナーの“簡素で楽しく、意義深いものに”という方針のもと、上記のテーマでシンポジウムが開かれた。川瀬パストガバナーを司会者に、大来佐武郎元外相、松平一郎R.I.前理事をパネラーに、また服部R.I.会長代理、大隈ガバナーを交えて、国際的な視野から討論が展開された。



司会者 パストガバナー 川瀬 保氏



前国際ロータリー理事(1980-82) 松平 一郎氏

松平一郎氏発言要旨

最近のロータリーは国際性が特に強調されているように考えられます。これは、世界全体を一つのコミュニティと考える時代に入りつつあるという思想が根底にあるからで、それが今年度のR.I.会長のテーマにも現われています。

ロータリーの役割を考えてみますと、ロータリアン個人としての役割、クラブとしての役割、ロータリー全体の役割とあり、役割によって色々な形の橋が出来ます。そして、一番大きな橋が出来るのは国際大会であり、世界中の人が毎

年2万人近く集まり、親睦を深めます。このように人と人が接する機会を与えるのが、ロータリーのプログラムであります。青少年交換、財団のスカラシップでやる交換、GSE等のプログラムを通じ、あらゆる形で人の接触により相互理解が生まれ、やがて国際間が良くなって行くことになります。クラブ単位としてはシスタークラブをつくること、地区ならマッチドクラブ、そして更に大きくなって二カ国間会議等と、機会は広がっていきます。更にそのようにしてともした灯を消さずに、だんだんと大きな火となるよう互いの親睦関係を深め、育てることが大切で、やがて個人から国へ、そして世界全体に沢山の橋がかかります。国家間の相互理解を深めるということは、文化交流であると言われます。しかし、文化とは音楽や芸術だけではなく、互いの国の生活様式、習慣等も充分理解することが大切です。そのためにもロータリーは充分役立つことが出来るでしょう。



元外務大臣 大来 佐武郎氏

大来佐武郎氏発言要旨

私は海外へ出かけることが極めて多く、今年

も今まで12回参りました。アメリカだけでも6回行くことになります。海外での仕事は、日本の考え方を充分理解してもらうことであります。そのため、相手国の意見を的確に聞き、その上で我々の主張を正確に伝えるよう努力しております。国と国、国民と国民とが互いに理解しあうことはなかなか容易ではないと常々考えております。殊に日本人は英語が不得手でどうしても発言が少くなり、黙っていることでますます誤解や偏見を抱かせることになります。今や英

語は世界語であり、日本を外国に知ってもらうために是非必要な手段です。この点、国を挙げて考えなければなりません。

先般、アメリカである重要な会議に出席した際、米上院外交委員長より日米貿易について随分手厳しい発言がありました。「アメリカは160億ドル入超だ、今年は200億ドル以上になるだろう。日本は売るだけ売って、自国の市場は閉鎖しておるので、アメリカの失業問題も日本の責任である。」等の一方的な意見です。私も出来る限り日本側の立場を発言しておりますが、なかなか一人の力では如何とも仕方がありません。このような誤解を解消するためには、まず人と人とのきめ細かい接触から始めることが必要で

す。例えばビジネスでの交渉のような場合でも大いに効果があります。一人一人が少しづつ心掛ければ、かなりの結果を収めることが出来ると思います。製品輸出で成り立つ日本経済を今後発展させるには、相手国に対し日本がどういう点で建設的役割を果せるかを考えるべきです。他の国を良くすることを通じて日本を更に良くする方途を考えるのです。日本企業としては出来る限り各国企業と共に仕事をする機会(合併、提携等)を持ち、相手国と日本と互いに利益を分かち合う形で日本経済が発展するよう考えていただければ、その間に人間的接触も生まれ、相互理解も深まることになるでしょう。



R.I.会長代理 服部 礼次郎氏

服部礼次郎氏発言要旨

私が戦後初めて商品の売り込みにアメリカに参りました頃の日本は、例えていえば自転車に乗ってヨタヨタと走っていたような有様でしたが、いつの間にかスクーターから小型自動車、今では大型自動車トラックをフルスピードで走り回るようになり、各所で事故を起したり、恐れられたりするようになってしまいました。これはただ自動車輸出のことだけをいうのではありません。あらゆる面でそういう調子になっ

ていると思われます。「世界中を豊かにし繁栄させる責任の一端は、日本にあるんですよ。」と言われておりますが、なるほど、そんな時代になってきたのだとつくづく考えさせられる次第です。

大来先生は諸外国の、国益を代表する政策決定の当局者と直接折衝され日夜ご苦労されておりますが、我々民間の者があちこちで個人的に接触の場を持つことも、全体としての大きな国際平和を作り上げる上で大いに貢献出来ると思います。小さなチャンス、ふとしたチャンスを捉え、そういう接触の場を持つためにロータリーの色々なプログラムをご利用いただきたい。小さい橋かも知れませんが、細い橋かも知れませんが、あるいは弱い橋かも知れませんが、あちこちに橋をかけていこうではありませんか。大空にまたがる虹のような大きな橋をかける必要はありません。足元にかかる一つ一つの橋を大切につくり上げていきましょう。



R.I.第260地区ガバナー 大隈 孝一氏

大隈孝一氏発言要旨

世界の政治力学はだんだん変わって行くと考えます。昔は強い者が勝ち、弱い者を併合するという時代でしたが、これからは力の強い者は弱い者を助けるという新しい考え方が要る時代です。いうなれば、「大国の責任とは何ぞや」と問われる時代になったような気が致します。大国といっても、軍事大国あり、経済大国あり、資

源大国もあります。更に、国土が広いことも大きな力ですから国土大国もあり、人口が多い国も人口大国といえるでしょう。

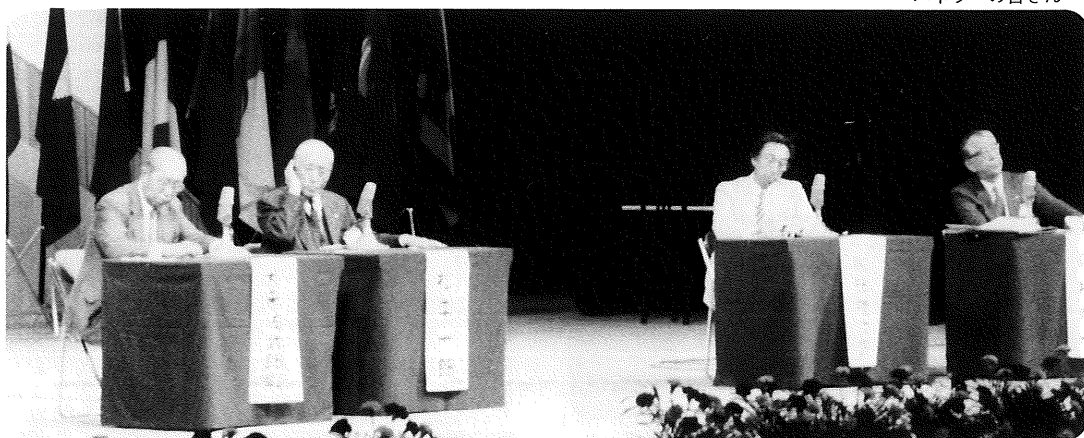
このような大国が、自らの真の繁栄は世界の人々と共にあり、という世界観に立脚して大局的に行動すべき時代が到来しつつあると感じます。

ロータリー活動についても、このような意味でロータリー大国があると思います。日本も今や堂々たるロータリー大国の一つではないでしょうか。そして、それにふさわしい責任を自覚すべきであります。そして、このことは単に資

金面で更に2倍も3倍も協力するということではなく、今後のロータリー活動がどうあるべきかについてアイデアを提供し、論議を重ね、世界の変化にふさわしい方向づけに貢献することだと思います。

しかし、松平さんはじめ皆様が言われたように、国際的相互理解はまだ不十分ですから、そう簡単には事が進むとは考えられませんが、今後、皆様と共に、特に若い方々のご理解とご協力によって努力を重ねてゆくべきだと存じます。

パネラーの皆さん



分 区 ニ ュ ー ス

南信第2分区では8月26日、豊橋市より530運動推進連絡会の野沢東三郎会長（地区社会奉仕小委員長）以下7名の役員が来訪されたのを機会に、飯田市役所及び駒ヶ根市役所の2会場で「530運動推進のための懇談会」を開催した。

各クラブの呼びかけで、市・町の関係者や各種

団体代表者も含め、両会場とも参加者が多く、持参されたビデオの上映と、発祥地のリーダーの方々の飾り気のない経験談は、聞く者に多大の感銘を与え、活発な質疑応答もあった。これをきっかけに、当地方の運動進展に拍車がかかることが期待される。

（南信第二分区 久保田元次氏）

ガバナー公式訪問日程

11月

1日(月)	あ	ま	18日(木)	松	川
6日(土)	蒲	郡	19日(金)	飯	田
8日(月)	上	田	22日(月)	名	古
10日(水)	渥	美	25日(木)	丸	子
15日(月)	駒	ヶ	26日(金)	戸	倉
16日(火)	飯	島	29日(月)	名	古
17日(水)	飯	田	30日(火)	高	浜

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

9月12日	八木	忠雄君	(津 島)
9月13日	伊藤	孟君	(蒲 郡)
9月14日	林	正之君	(松本西南)
9月15日	大原	霞君	(名古屋西)
9月21日	野村	正治君	(名古屋西)
9月26日	篠田	功君	(稲 沢)
9月26日	春日	勇一君	(伊 奈)
9月29日	稲垣	源三君	(安 城)
10月2日	太田	智久君	(名古屋北)
10月4日	荒井	膠三君	(名古屋北)

昭和57年9月度

分區別会員数及び出席率

昭和57年9月30日現在

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	63	97.54	4	62	+ 1
	半 田 南	42	99.40	4	41	+ 1
	東 知 多	47	98.99	4	47	0
	名 古 屋	217	96.70	4	214	+ 3
	名 古 屋 東	96	99.19	4	96	0
	名 古 屋 北	102	100.00	4	102	0
	名古屋名北	49	100.00	4	48	+ 1
	名古屋名東	54	100.00	4	53	+ 1
	名古屋南	117	99.28	4	117	0
	名古屋港	102	99.75	4	102	0
	名古屋瑞穂	57	100.00	4	57	0
	名古屋守山	76	98.96	4	76	0
	名古屋中	98	98.68	4	98	0
	名古屋西	142	99.03	4	143	- 1
	名古屋東南	82	99.69	4	82	0
	名古屋和合	73	100.00	4	72	+ 1
	東 海	52	96.06	4	50	+ 2
	常 滑	59	98.69	4	59	0
	名古屋千種	37	98.65	4	26	+11
	19C	1,565			1,545	+20
尾 張 第 二 分 区	あ ま	73	99.66	4	72	+ 1
	尾 西	51	99.02	4	51	0
	一 宮	82	100.00	4	80	+ 2
	一 宮 北	73	99.32	4	73	0
	稲 沢	51	98.08	4	52	- 1
	犬 山	74	100.00	4	71	+ 3
	岩 倉	29	99.15	4	29	0
	春 日 井	81	100.00	4	81	0
	小 牧	62	100.00	4	62	0
	江 南	67	99.63	4	67	0
	名古屋空港	66	99.62	4	66	0
	西 春 日 井	70	99.29	4	69	+ 1
	尾 張 旭	46	100.00	4	46	0
	瀬 戸	76	99.01	4	76	0
	瀬 戸 北	52	100.00	4	56	- 4
	津 島	70	100.00	4	71	- 1
	16C	1,023			1,022	+ 1
三 河 第 一 分 区	渥 美	55	98.64	4	55	0
	蒲 郡	69	95.19	3	71	- 2
	奥 三 河	50	95.48	4	49	+ 1
	新 河 城	48	97.92	4	48	0
	田 原	65	97.69	4	65	0
	豊 橋	114	100.00	4	115	- 1
	豊 橋 北	99	99.74	4	99	0
	豊 橋 南	64	100.00	4	64	0
	豊 川	77	98.61	4	77	0
	9C	641			643	- 2

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	72	100.00	4	72	0
	碧 南	71	99.64	4	71	0
	一 色	56	91.67	4	56	0
	刈 谷	83	99.70	4	83	0
	西 尾	70	97.38	4	70	0
	岡 崎	89	100.00	4	89	0
	岡 崎 東	59	99.08	4	59	0
	岡 崎 南	73	98.61	4	73	0
	高 浜	46	97.83	4	45	+ 1
	豊 田	89	100.00	4	89	0
東 北 信 分 区	豊 田 東	52	100.00	4	52	0
	豊 田 西	72	98.93	4	72	0
	12C	832			831	+ 1
	軽 井 沢	38	100.00	4	38	0
	小 諸	58	94.39	4	58	0
	丸 子	40	90.62	4	40	0
	南 佐 久	27	95.37	4	27	0
	長 野 野	92	96.13	4	90	+ 2
	長 野 東	78	96.80	4	78	0
	長 野 南	32	97.60	4	32	0
南 信 第 一 分 区	中 野	47	95.22	4	47	0
	佐 久 坂	39	91.25	4	39	0
	須 田	38	95.30	4	38	0
	戸 倉 上 山 田	41	100.00	4	41	0
	上 田	57	97.91	4	57	0
	上 田 東	49	96.27	4	49	0
	13C	636			634	+ 2
	茅 野	26	91.55	4	26	0
	富 士 見	32	75.00	4	32	0
	白 馬	41	94.37	4	41	0
南 信 第 二 分 区	木 曾	50	83.98	4	48	+ 2
	松 本	73	99.27	4	73	0
	松 本 南	79	99.63	4	77	+ 2
	松 本 西	48	98.98	4	49	- 1
	岡 谷	62	95.96	4	62	0
	大 町	62	93.85	4	62	0
	塩 尻	39	100.00	4	39	0
	諏 訪	61	95.08	4	61	0
	11C	573			570	+ 3
	飯 田	80	100.00	4	78	+ 2
南 信 第 二 分 区	飯 田 南	74	100.00	4	75	- 1
	飯 田 島	35	100.00	4	35	0
	伊 那	81	99.66	4	83	- 2
	駒 ヶ 根	54	100.00	4	60	- 6
	松 川	52	98.90	4	52	0
	箕 輪	31	95.97	4	31	0
	箕 輪 野	48	100.00	4	48	0
	8C	455			462	- 7
	計 88 クラ ブ	5,725			5,707	+18

地区ニュース

★名古屋市14RC新入会員講習会盛会裡に終る

受講者 68名
と き 9月6日(月)
ところ ホテルナゴヤキャッスル
ホスト 名古屋東ロータリークラブ

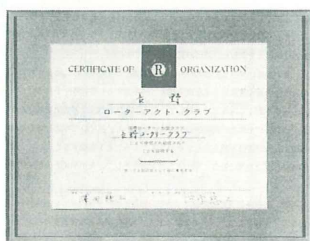
★第260地区 米山奨学生カウンセラー会議は下記の通り開催された

と き 9月14日(火)
ところ 栄 中日ビル5階 中日パレス
参加者 名古屋RC、日比野君ほか27名
(内奨学生14名)

1. 全国委員長会議及び評議員会の報告
2. カウンセラーとの懇談会

★長野ローターアクトクラブ認証状伝達式

去る10月3日(日)、東北信分區で初めてのローターアクトクラブが長野に誕生し、大隈ガバナー、川瀬青少年委員長をはじめ約300名の出席のもとに盛大に挙行された。



おめでとう

ポール・ハリス・フェロー

8月13日	江口 太郎君	(名古屋)
8月16日	長坂 好忠君	(飯田南)
8月16日	加藤 整吾君	(瀬戸)
8月16日	鈴木 正人君	(瀬戸)
8月20日	青山孝太郎君	(稲沢)
9月1日	二木 良三君	(瀬戸)
9月6日	土屋 喜市君	(長野)
9月6日	斉藤 洋一君	(岡崎東)
9月8日	小野 隆君	(岡崎南)
9月8日	岡部 快芳君	(あま)
9月13日	長沢 孝一君	(名古屋東)
9月13日	佐藤 泰春君	(軽井沢)
9月13日	岡島 順二君	(飯田南)
9月20日	稲田 萬吉君	(名古屋東)
9月20日	宇佐美嘉重斌君	(名古屋東)
9月20日	山田 四郎君	(名古屋北)
9月20日	三浦 敏正君	(岡崎東)
9月24日	鈴木 俊君	(上田)

お知らせ

●ガバナー公式訪問日一部変更の件

変更後月日	クラブ名	変更前月日
1月18日(火)	名古屋千種	(新)
1月19日(水)	碧 南	1月12日(水)
1月21日(金)	津 島	1月14日(金)
1月25日(火)	名古屋	1月18日(火)

●ロータリー適用相場変更の件

国際ロータリー中央事務局より本年10月1日から総ての振込に対する適用相場、いわゆるロータリーレートを一ドル260円(旧238円)に変更された。

●1982～83年度I.G.F.日程変更の件

尾張第2分區(福田分區代理)のI.G.F.は、下記の通り変更になった。

開催日	ホスト	開催地
2月27日(日)	瀬戸北RC	瀬戸

●会長、副会長変更の件(蒲郡RC)

会長：藤田芳男君 副会長：岩瀬正雄君

●国際ロータリー在日財務代行者変更の件

柏原孫左衛門氏病氣静養のため、今度ロータリー本部ピクマン総長の任命を受け、下記の通り変更された。

振込銀行	三井銀行本店	三菱銀行本店
口座種類	普通預金	普通預金
口座番号	0968049	1528228
口座名義	国際ロータリー在日財務 代行者 杉谷 武雄	

●第260地区 国際奉仕委員会開催の件

日時 昭和57年11月9日(火) 12時
場所 キャッスルプラザホテル3階
議題 新年度の方針ならびに各小委員会の活動について

橋シリーズ⑤ (ターゲットに因んで橋の写真を連載します)

三河港大橋(三河第1分區提供)

東三河臨海道路のカナメになる橋で、総工費61億5,700万円、全長1,750mで昭和57年7月15日完成した愛知県下最長の橋であり、ケタ橋としては琵琶湖大橋を越えて日本最長の橋である。

